

「化石の卒業制作(4)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

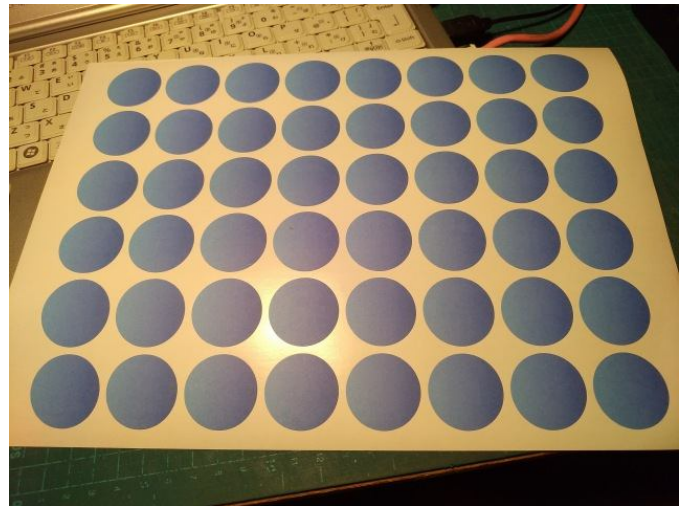
コイン収集用の透明ケース(蓋付き)は、安価で気密性も良く、小さな虫や標本を入れて観察するのに適している。



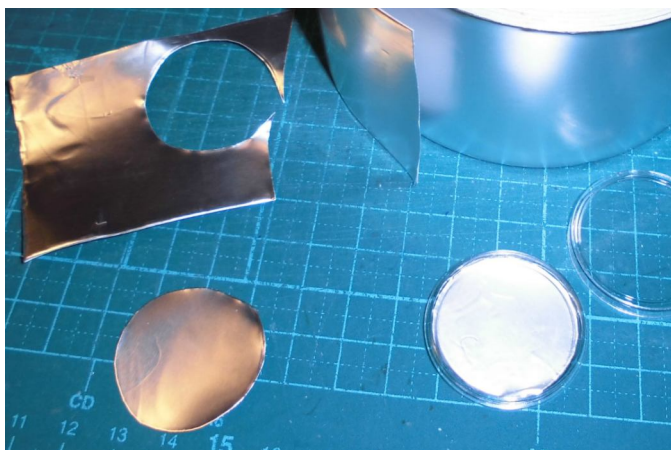
実際にアルミシートを貼ったものに、星砂を入れてみたが、もともと色の薄い標本なので、意外と見栄えがしない、この方法は「没」になった。



さっそく「星砂」を入れてみた。確かに、蓋をしても美しく見える。しかし、実際に台紙(厚紙)に貼り付ける時は、裏に「厚手の両面テープ」を貼るので、ちょっと見栄えが悪くなる。底に何か貼って、肝心の星砂がよく見えるようにする必要があるようだ。



そこで、直径3cmのインクジェット・プリンター用のシール用紙に印刷して、青いシールを作った。1シートで48枚作れるので、3シートで余るほどだ。



最初に試したのは、粘着剤付きのアルミシートだ。これを透明ケースの直径(3cm)に切って、ケースの底に貼る方法だ。この方法は面白いと思ったのだが、直径3cmの円を描いて、一つずつ切り取る必要がある、かなり手間がかかる。



それを底に貼って、星砂を入れてみた。濃い色の背景に薄い色の星砂なのでよく目立ち、これはいける！この方法に決定した。